

業務部速報



No. 180

発行 22. 6. 10

JR東労組 業務部

申29号 2022年度夏季手当等に関する緊急申し入れ 団体交渉を行う！（その1） 2022.6.10

論点1 会社回答に納得できないという組合員の声について



働き度が高まっている
 働き度がこれまで以上に増している
認識はあるのか
 これまで以上に働き度が上がっている。

■ 社会的使命を果たしていることに感謝申し上げる
■ 様々な施策をスピード感を持って取り組んでいるのは認識している
■ スピード感を持って、取り組んでいることについて受け止める

この間の議論と同じ回答である。これまでの議論を組合員にも伝えて、納得感がないと言われている。労働実感は過去最高の働き度だ。そこを会社は見ているのか

■ 新型コロナだけではない課題に向かって、今期は社員の皆さんが全力で取り組んで頂いた。様々な対応について最大限努力を頂いていると認識している

論点2 人材流出について

人材流出の危機感が一致していない。収入は減っても転職した方が良く、転職サイトに登録している。この回答では頑張ろうという気にはならない。これでは人材は流出するのは必然だ

■ コロナ前の状況と変わったことに、不安を持っている社員の声は認識している。成長続けられる会社をつくり上げて社員と家族の幸福の実現、労働条件向上を今後もしっかりと実現したい



昨年より離職者は増えている認識なのか
 去年と比べて増えているのか
 離職の傾向として、増えているのか
 我々は、増加していると掴んでいる。会社は危機感を持っているのか
 認識を合わせていただきたいから、増加傾向なのか伺っている
 会社の認識は減少傾向ということか

■ 何名だから良いということではなく、社員の皆さんが安心して働くことが重要である
■ **他の企業と比べれば決して高い水準ではない**
■ 増減自体、ここで評価をするつもりはない
■ 離職防止はこれまででもそうだが、しっかり取り組まなければならない
■ 直近では、2019年度の離職率は1.2%、2020年度は1.1%である
■ そうではない。HPの記載内容はそのような内容だ

増加傾向かどうか答えて頂けないということで良いか

■ 示すならば、しっかりと数字を示したい

精査したら示せるのか

■ 精査している段階なので公表していない。公表されれば示す

我々は増加傾向にあると実感している。人材流出を止める危機感を持って取り組んでいただきたい

■ **会社として離職防止に努める。**主張は否定しない

長きにわたって安心して働くことが労使共通の認識や課題である。周りの一緒に働いていた社員がいなくなってしまう危機感は今までなかった。働く側がそのように感じているのに、経営側はどうなのか。会社は声を把握しているのか

■ **会社としては、人材流出は常に危機感を持っている**

22夏季手当において寄せられた組合員・社員の声は7400件以上

納得できないものには納得できないと言うのが労働組合だ!